

病気の子どもと家族のための
クリスマスプレゼント

タオルでくまをつくらう!

手ぶらでご参加ください

参加
無料

バザーも
開催!

✕ 料理研究家
脇雅世先生手作りの
お味噌もあります



タオルと輪ゴムで
かわいくまをつくらってみよう!
気に入ったくまは連れて帰れるよ。
ぜひ参加してみてね!
パパもママも、一緒にかわいくまを
作ってみよう♪作り終わったら、
くまと一緒に写真を撮ろう!

① 11月12日 (日) ② 11月26日 (日)

③ 12月3日 (日) ④ 12月10日 (日)

定員：各回10組

場所：

グロースリンクかちどき

(東京都中央区勝どき1-3-1)

①～② マナVIVA! ③～④ 多目的室

申込み

QRコードを読み取り、必要事項を入力して
お送り下さい。



締切：

開催日前日17時まで

※このプログラムは、The UPS Foundationの助成を受けて行っています。

主催：認定特定非営利活動法人ファミリーハウス

〒101-0041 東京都千代田区神田須田町1-13-5 藤野ビル3階

電話 03-6206-8372 Email jimukyoku@familyhouse.or.jp

URL <https://www.familyhouse.or.jp>



病気の子ども と家族と一緒に 支えてください！

小児がんや心臓病、臓器移植などの治療を必要とする病気の子どもは12万人以上います。*その子ども達が、先進医療を受けるため自宅から離れた病院で治療を受ける際に、病院近くで「わが家」のように泊まれる場所として、1993年に日本で初めて「ファミリーハウス」をつくりました。

ハウスは全て皆様からのご寄付とボランティアで運営されています。

東京での闘病生活の経済的負担を軽減するだけでなく、子どもの病気のことや地元に残してきた家族のことなどで大きな不安を持つご家族同士が情報交換を行い、支え合える場として、また病気の子ども自身も安全に滞在出来るよう、相談員や看護師等の専門職とボランティアが力を合わせて、病気だからこそ大切にしたい「ふつうの生活」を支えています。

*出典：全体人口（令和2年度国勢調査） 対象児童数（令和2年度衛生行政報告例）

ファミリーハウス



© Yuriko Yamawaki 2006

【利用料】

- * 病気の子どもは「無料」
- * 付き添い家族は、1人1泊1000円

【運営実績】

- * 都内で8施設15部屋を運営
- * 2022年度は、延べ4,936人、238家族が利用
- * 活動開始以来、延べ19,687家族が利用

【組織】

理事長 江口 八千代 元独立行政法人国立病院機構相模原病院看護部長
副理事長 細野 亜古 国立研究開発法人国立がん研究センター東病院小児腫瘍科医長
牧原 晋 元日本電気株式会社執行役員常務

【受賞歴】

2005年 社会貢献者表彰受賞（公益財団法人 社会貢献支援財団）
2015年 江口八千代理事長 瑞宝双光章 受章
2018年 第70回保健文化賞受賞（主催：第一生命保険株式会社、
後援：厚生労働省・朝日新聞厚生文化事業団・NHK 厚生文化事業団）

さまざまな支援の形

寄付

▶口座振替

ファミリーハウス基金
郵便振替口座番号
00180-1-654419



▶クレジットカード

インターネットを利用してクレジットカードで寄付ができます。
「単発寄付」あるいは「毎月寄付」を選択することが可能です。



物品寄付

ハウスの備品も全て、ご寄付で成り立っています。HPに、ウィッシュリストを掲載しています。



ボランティア

あたたかみのあるハウスは、ボランティアの皆さまのご協力できています。
ご興味をお持ちの方はボランティア説明会（オンライン）にご参加下さい。



フォローください！

ファミリーハウスの公式X（旧Twitter）で、ハウスのことなどを発信しています。
ぜひフォローください！（@familyhouse）



認定特定非営利活動法人 ファミリーハウス

〒101-0041

東京都千代田区神田須田町1-13-5 藤野ビル3階

電話 03-6206-8372

Email jimukyoku@familyhouse.or.jp

URL <https://www.familyhouse.or.jp>



団体HP



活動紹介動画